

<Shufoo!買い物動向レポート Vol.11 「節約に関する意識調査」> 調査結果(抜粋)
2016 年 10 月 18 日 凸版印刷株式会社

【調査概要】

調査エリア: 全国

調査対象者: 「シュフーポイント」会員(10代から60代までの女性)

サンプル数: 55,845

調査期間: 2016 年 9 月 8 日から 11 日まで

調査方法: インターネットリサーチ

* 本ニュースリリースに含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず「凸版印刷株式会社『Shufoo!』調べ」と明記下さい。

【調査結果】

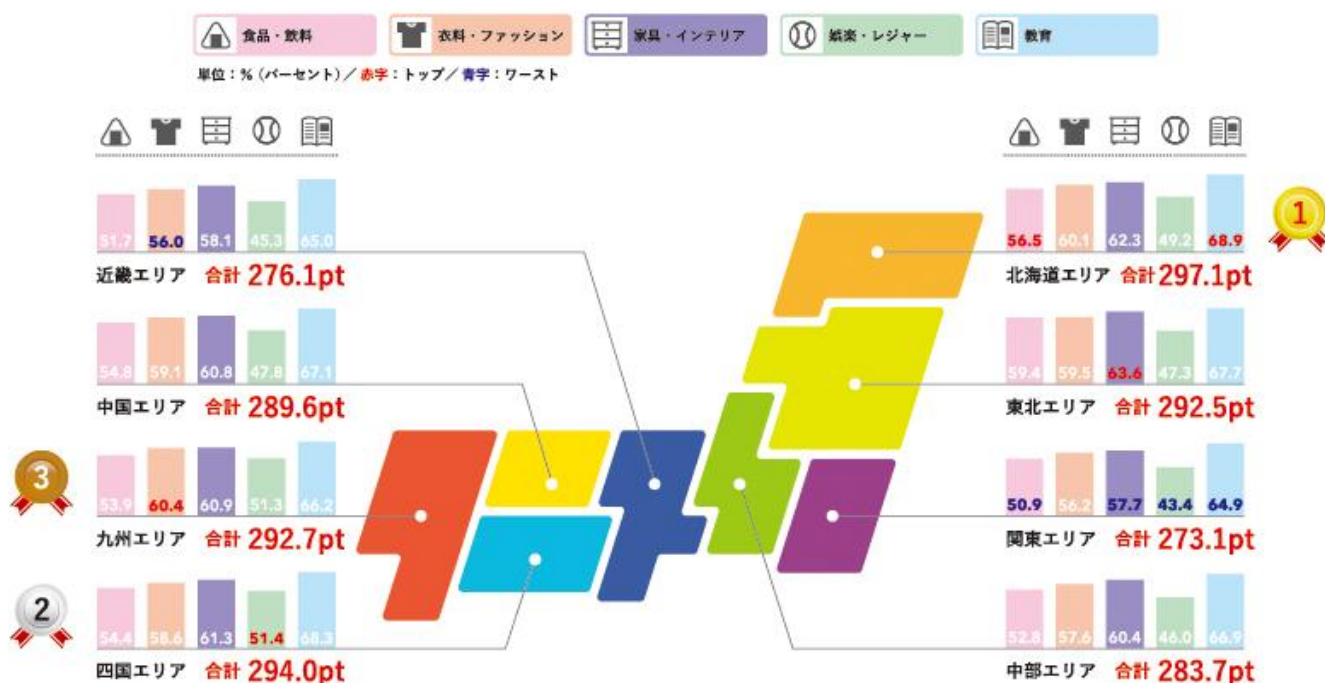
まず節約に関する意識調査のため、各都道府県の「Shufoo!」ユーザーを8エリアに分け、家計の支出における16項目(※)について、それぞれ【極力お金をかけたくない】もしくは【多少はお金をかけてもいい、かけたい】のいずれかを回答してもらいました。

そのうち代表的な支出項目として、“衣食住”を担う必要経費である「食料・飲料」「衣料・ファッション」「家具・インテリア」と、浪費に区分される「娯楽・レジャー費」、投資に区分される「教育費」の5項目にしばり、各エリアで結果を比較してみました。

すると代表的な支出5項目において、各項目における【極力お金をかけたくない】主婦の多いエリアにはばらつきがありましたが、総合的に【極力お金をかけたくない】という回答が最も多かったのは北海道エリア、次いで四国、九州エリアとなりました。特に北海道エリアは衣食住を担う必要経費においても全項目で上位にランクインしており、北海道エリアの主婦は常日頃から節約志向が非常に高いということがわかりました。

代表支出5項目における【極力お金をかけたくない】志向の強いエリアのランキング

	食品・飲料	衣料・ファッション	家具・インテリア	娯楽・レジャー費	教育費	総合点
1位	北海道エリア (56.5%)	九州エリア (60.4%)	東北エリア (63.6%)	四国エリア (51.4%)	北海道エリア (68.9%)	北海道エリア (297.1pt)
2位	中国エリア (54.8%)	北海道エリア (60.1%)	北海道エリア (60.1%)	九州エリア (51.3%)	四国エリア (68.3%)	四国エリア (294.0pt)
3位	東北・四国エリア (54.4%)	東北エリア (59.5%)	四国エリア (59.5%)	北海道エリア (49.2%)	東北エリア (67.7%)	九州エリア (292.7pt)



一方で、代表的な支出 5 項目において、各項目における【多少お金をかけてもいい、かけたい】主婦の多さを見ると、関東・中部・近畿の 3 エリアに集中しており、中でも関東エリアが最多となりました。やはり国内でも都市部およびその近隣エリアでは物価も比較的高く、場合によって出費は厭わないという考え方のようです。

代表支出 5 項目における【多少お金をかけてもいい、かけたい】志向エリアランキング

	食品・飲料	衣料・ファッション	家具・インテリア	娯楽・レジャー費	教育費	総合点
1位	関東エリア (49.1%)	近畿エリア (44.0%)	関東エリア (42.3%)	関東エリア (56.6%)	関東エリア (35.1%)	関東エリア (226.9pt)
2位	近畿エリア (48.3%)	関東エリア (43.8%)	近畿エリア (41.9%)	近畿エリア (54.7%)	近畿エリア (35.0%)	近畿エリア (223.9pt)
3位	中部エリア (47.2%)	中部エリア (42.4%)	中部エリア (39.6%)	中部エリア (54.0%)	九州エリア (33.8%)	中部エリア (216.3pt)

代表的な支出 5 項目における【極力お金をかけたくない】【多少お金をかけてもいい、かけたい】の上位エリアをみると、都市部およびその近隣エリアは状況に応じてある程度支払う上限金額の判断を行っている一方、一般的に“地方”とされるエリアにおいては、全体的にどの場面においても財布の紐が固く節約志向が高い傾向にあることが伺えます。

次に、全国 8 エリアの各「Shufoo!」ユーザーに【普段行っている、もしくは最近行った節約方法】について聞いてみました。その結果、全エリアで上位になったのは「特売品などの安い商品を買う」(全国平均 86.4%)で、全国の主婦の間ではまさに定番の節約方法である一方、地域によって上位となる節約方法が異なり、各エリアの節約に対する様々な工夫が伺える結果となりました。

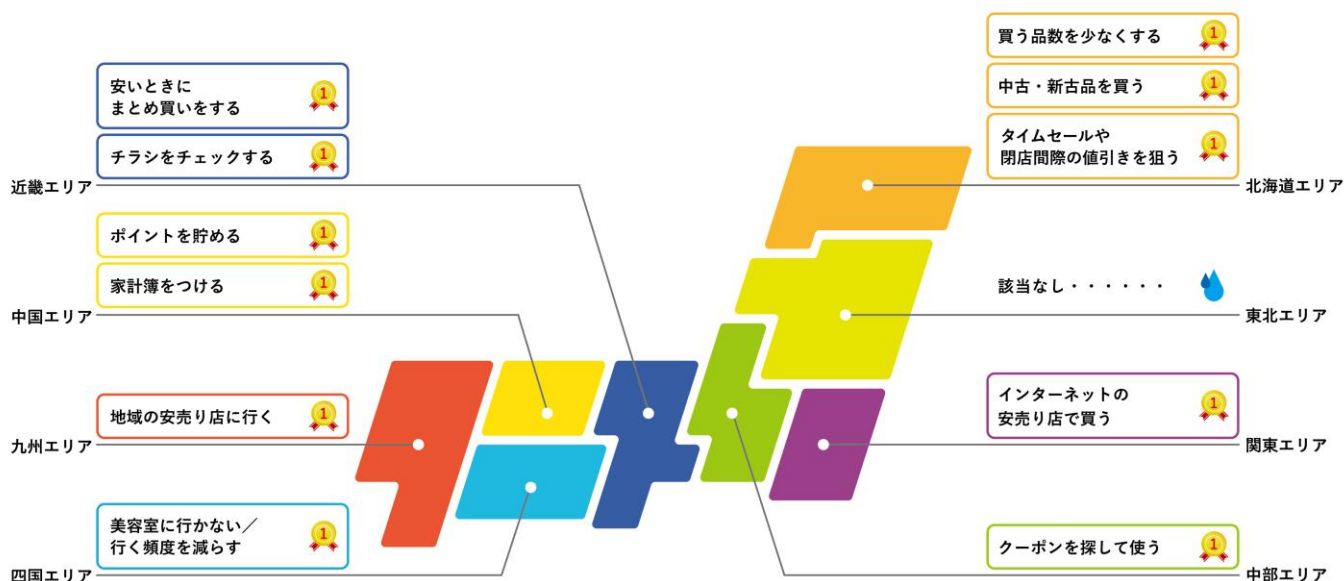
主な節約方法における実施率の高いエリアのランキング

	買う品数を少なくする	安いときにまとめ買いする	地域の安売り店に行く	インターネットの安売り店で買う	中古・新品品を買う	タイムセールや閉店間際の値引き品を買う
1位	北海道エリア (35.4%)	近畿エリア (64.9%)	九州エリア (41.8%)	関東エリア (23.8%)	北海道エリア (15.4%)	北海道エリア (42.1%)
2位	四国エリア (35.1%)	関東エリア (64.1%)	中国エリア (38.9%)	四国エリア (22.2%)	東北エリア (14.7%)	中部エリア (41.7%)
3位	関東エリア (34.2%)	四国エリア (63.4%)	関東エリア (36.9%)	中部エリア (22.1%)	四国エリア (14.3%)	関東エリア (41.6%)

	チラシをチェックする	ポイントを貯める	クーポンを探して使う	家計簿をつける	美容室に行かない/行く頻度を減らす
1位	近畿エリア (74.9%)	中国エリア (63.7%)	中部エリア (37.7%)	中国エリア (23.7%)	四国エリア (30.3%)
2位	北海道エリア (74.4%)	四国エリア (62.8%)	近畿エリア (36.2%)	四国エリア (23.5%)	中国エリア (30.2%)
3位	関東エリア (73.7%)	関東エリア (62.2%)	関東エリア (35.5%)	北海道エリア (22.8%)	北海道エリア (29.6%)

中でも、北海道エリアは3つの節約方法において最も実施率が高く、普段から【極力お金をかけたくない】と考えている節約意識の高さが伺える結果となりました。

各エリアの得意な節約方法（それぞれの節約方法の実施率で全国1位のエリアを選定）



最後に、実際の Shufoo! でのチラシ閲覧にも同様の傾向があるかを見るため、小売・流通の5大業態である「スーパーマーケット」「ドラッグストア」「家具・ホームセンター」「家電店」「ファッション」カテゴリにおける、全国8エリアの1人あたりのチラシ閲覧数(2016年9月度実績)を調べてみました。すると、各カテゴリで多少のばらつきはあるものの、合計数では「チラシをチェックする」節約方法のNo.1エリアであった近畿エリアが第1位、次いで【極力お金をかけたくない】節約志向の最も高い北海道エリアが第2位、実施率の高かった節約方法が2つあった中国エリアが第3位となり、節約志向の高さとチラシ閲覧数は相関関係にあると言えます。

小売・流通5大業態における、1人あたりのチラシ閲覧数上位エリア(2016年9月度実績)

	スーパー	ドラッグストア	家具・ホームセンター	家電店	ファッション	合計数
1位	北海道エリア (26.5枚)	中国エリア (8.5枚)	中部エリア (9.1枚)	近畿エリア (8.0枚)	東北エリア (5.7枚)	近畿エリア (50.8枚)
2位	近畿エリア (23.5枚)	四国エリア (8.4枚)	関東エリア (8.5枚)	中部エリア (7.2枚)	北海道エリア (5.6枚)	北海道エリア (48.0枚)
3位	関東エリア (21.3枚)	近畿エリア (7.1枚)	北海道エリア (7.3枚)	中国エリア (6.3枚)	四国エリア (5.5枚)	中国エリア (47.9枚)

※) 家計の支出における16項目について

【食品・飲料】【酒類】【日用品】【衣料・ファッション】【家具・インテリア】【家電・AV製品】【ベビー・子供用品】【スポーツ用品】【娯楽・レジャー費】【外食費】【水道光熱費】【通信費】【保険料】【教育費】【お小遣い】の16項目